

田中 眞里子

講師

研 究 業 績

2021年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
論文(単)	『社会福祉学部児童福祉学科学生の研究の分析—児童福祉研究集録より—』 児童福祉研究第2巻第1号 31頁～42頁	2018. 9
論文(単)	『養護教諭養成における看護実習での学び —臨床実習を通して学生が学んだこと—』 児童福祉研究第2巻第1号 43頁～50頁	2018. 9
論文(単)	『後輩に伝えたいことのレポートから — 養護実習(教育実習)を終えての学び —』 児童福祉研究第2巻第2号 31頁～42頁	2019. 3
論文(単)	『看護臨床実習を履修した学生の学び(医療福祉センター)』 児童福祉研究第2巻第2号 31頁～42頁	2019. 3
論文(単)	『基礎看護技術「手洗い」に関する研究内容の分析』 児童福祉研究第3巻第1号 29～38頁	2019. 9
論文(単)	『男性養護教諭に関する文献レビュー』 児童福祉研究第3巻第1号 39～46頁	2019. 9
論文(単)	『看護師のお礼奉公—看護学生の病院から受ける奨学金を完済するまでの過程の事例分析—』 花園大学社会福祉学会 福祉と人間科学 第30号 3～16頁	2020. 3
論文(単)	『老年看護学実習において後期高齢者が担当学生に抱く心理』 花園大学社会福祉学会 福祉と人間科学 第31号 3～15頁	2021. 3
論文(共)	『独居高齢者の自己決定権に基づいた退院支援の一考察』 日本看護倫理学会誌 項73-79 (野村真由美、山本りえ、福田順子)	2018. 3
論文(共)	『看護学実習における 精神的レジリエンス』 太成学院大学 紀要第20巻 71頁～75頁太成学園大学紀要(田中俊明)	2018. 3
論文(共)	『看護学生/男性ジェンダー・職業アイデンティティにおける文献検討』 太成学園大学紀要第21巻 71頁～75頁(田中俊明)	2019. 3
その他(共)	『基礎看護学実習Ⅱにおける学生の不安に関する調査』 全学研究ポスターワークショップ(仲口路子、伊賀さくら、大橋映里) 於: 明治国際医療大学	2016. 3
その他(共)	『内発的動機付けに着目したリカレント学習講座』 全学研究ポスターワークショップ(大城知恵、寺谷愉利子、仲口路子、宇城靖子、大橋映里) 於明: 治国際医療大学	2016. 3

口頭発表（共）	『老年看護学実習において後期高齢者が担当学生に抱く心理』日本看護協会学術学会, 看護教育（畑野相子）於：新潟県・朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター	2014. 4
口頭発表（共）	『低血糖脳症により意思疎通困難となった患者・家族と向き合う看護』日本看護協会学術学会, 慢性（竹之内さやか）於：福島県・ビッグパレット福島	2015. 9
口頭発表（共）	『リカレント教育における研究の現状と支援～過去3年間の地域教育の取り組み～』日本看護協会学術学会看護教育（大城知恵、寺谷愉利子）於：びわ湖大津プリンスホテル	2016. 9
口頭発表（共）	『成人期の高次脳機能障害で粗暴行為がみられた患者の在宅に向けた家族への看護アプローチ』日本看護医療学会（曾木夏樹、前田志乃布）於：名古屋市立大学桜山キャンパス	2016. 9
口頭発表（共）	『看護師に頼りがちな人工呼吸器装着患者のADL・意欲向上に至ったプロセスの振り返り』日本リハビリテーション学会（蛸谷いつか、林友美、黒部厚、佐々木美輪）於：沖縄県名護市名桜大学 キャンパス	2016.11
口頭発表（共）	『授業中のマイクロスリープに関する研究 ―実態と認識について―』明治国際医療大学学術学会 学内助成研究（仲口路子、伊賀さくら、深田貴江子、山下八重子）於：明治国際医療大学	2017. 3
口頭発表（共）	『看護学実習における 精神的レジリエンス』日本看護協会学術学会 精神看護（田中俊明）於：島根県民会館	2017. 9
口頭発表（共）	『経管栄養チューブを繰り返し自己抜去する患者の看護安全安楽な抑制解除に向けたプロセス』日本看護医療学会（中尾侑那、牧野千賀子、望月美和）於：名古屋市立大学桜山キャンパス	2017. 9
口頭発表（共）	『独居高齢者の自己決定権に基づいた退院支援の一考察』日本看護倫理学会（野村真由美、山本りえ、福田順子）於：ホルトホール大分	2017. 5
口頭発表（共）	『半福臥位療法を取り入れた看護の振る帰』日本看護リハビリテーション学会（宮内智子、大塚由紀、須郷久美子、植山春菜）於：東京日経ホール	2017.11
口頭発表（共）	『ユマニチュードを取り入れた看護に対するスタッフの意識調査』日本看護医療学会於：岐阜朝日大学（藤村祐大、竹ノ下千尋、今村壘、近藤綾子）於：岐阜朝日大学	2018.11
口頭発表（共）	『拘縮による疼痛の緩和にむけた寄り添う看護 ―寝たきり高齢漢字が看護の関わりにより自己の意思表示ができるまで―』日本看護リハビリテーション学会（宮迫美紀、藤本洋子、石川淑恵）於：富山国際会議場	2018.11
口頭発表（共）	『飲水量が少ない患者への個別的、重点的ケアの有用性』日本看護医療学会（永島 由紀子）於：名古屋大学鶴舞キャンパス	2019. 9
口頭発表（共）	『騒音に対する看護師と患者の意識調査 ―患者が苦痛に感じる音・看護師が感じる音―』日本看護医療学会（麓美波、若松真有）於：名古屋大学鶴舞キャンパス	2019. 9
口頭発表（共）	『ICUに緊急入室した患者家族の気持ち』日本救急看護学会（庄司 直樹）於：幕張メッセ菊祭会議場	2019.10

口頭発表（共）	『写真とイラストを用いたパンフレットに対する患者の反応』（梶原 望、岡本 さち子）日本看護手術学会 於：ホテルグランヴィア岡山	2019. 10
口頭発表（共）	『継続看護 —退院後訪問を通して見えてくること—』大阪病院学会（林良子） 於：グランドキューブ大阪、大阪国際会議場	2019. 10
口頭発表（共）	『化粧療法を活用した不穏患者への介入による効果』日本看護協会学術学会，慢性 於：鹿児島サンロイヤルホテル	2019. 11
口頭発表（単）	「精神科疾患の治療を中断した母親と暮らした子どもの語り—母の病気を知らない子ども—」 第51 回日本看護協会学術学会（山形）ウエーブ学会	2020. 11
口頭発表（共）	「A 病院のインシデント- アクシデントレポート作成による看護師のメンタルヘルスへの影響」（黒澤彩絵、田中眞里子）第22 回日本救急看護学会学術集会（グランドキューブ大阪 大阪国際会議場）ウエーブ学会	2020. 12
社会活動	京都桂病院 研修管理委員	
社会活動	裕生会みどりヶ病院 看護研修講師	
